

**平成30年度**

# **シラバス**

**青翔開智高等学校**

**第3学年**

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文B	2	高校3年	必修

科目の目標	評論、小説の読解によって読解の技術および読解に必要な知識を身につけること。 それによって世界を認識する視点を獲得すること。 また、ディベート等の表現活動によって情報収集から発表までのプロセスを身につけること。				
学習内容の概要	評論の読解ではその技術だけでなく重要テーマについての知識も同時に身につける。 小説の読解では文学研究の手法で本文理解だけにとどまらない鑑賞方法を学習する。 毎授業冒頭には漢字もしくは語句の小テストを実施する。 また、月1回程度表現活動を実施、表現および教科書外のテーマについても学習する。				
評価の観点	関心・意欲・態度 各言語活動に積極的に参加しているか。	話す・聞く能力 目的や場に応じて的確に聞き取り、自分の意見をまとめ深めることができるか。	書く能力 必要な情報を用いて目的に応じた文章を書き、自分の考えを深めることができるか。	読む能力 近代以降の文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読み取ることができるか。	知識・理解 読解に必要な知識を習得することができるか。
評価の方法	定期考査 70% 授業態度等 30%				
教科書、教材	精選現代文(大修館書店)、品詞別頻出漢字マスター300(尚文出版)、シグマ新国語便覧(文英堂)、国語辞典(指定なし)、漢和辞典(指定なし)、プリント				
授業形態	一斉				

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	ガイダンス		1					
		『『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ』 「心に『海』を持って」	筆者の意見を読み取る	6					
	5	演習問題	評論の読解方法を学ぶ	6					
		「こころは見える？」	日常的なテーマから、論考の手法を読み取る	6					
	6	演習問題	評論の読解方法を学ぶ	6					
		7	「檸檬」	描かれた人物、情景、心情を表現に即して読み取る	14				
2学期	8								
	9	演習問題	小説の読解方法を学ぶ	6					
		「無常ということ」	歴史や古典に言及した筆者の態度と、現代人批判について考える	8					
	10	演習問題	評論の読解方法を学ぶ	5					
	11	「舞姫」	登場人物の内的感覚を捉え、心情の推移を読み取る	9					
	12	演習問題	マーク問題の読解方法を学ぶ	12					
3学期	1								
	2								
	3								



教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理歴史	世界史研究	4	高校3年	選択

科目の目標	歴史(学)的思考を身につけながら、世界の歴史に関する知識と教養を養う。歴史と経済、歴史と文物との関連、及び世界史と日本史、世界史と地理、世界史と現代世界との接点を理解する。			
学習内容の概要	古代から現代にいたる世界の歴史を学ぶ。古代から中世、中世から近代という時間軸を用いてまず「地域史」を講義する。その際、国家の統治機構や経済的文化的交流史に焦点をあて、その後、地域を横断する「時代史」を講義して総括する。なお現代史においては、特にグローバル化によって地域の相互作用が大きいため、「現代史」として地域横断的な授業を行う。問題演習も頻繁に行う。			
評価の観点	意欲・態度	歴史に対する感性・理解	地域に対する感性・理解	人間に対する感性・理解
	学習内容への研究に意欲をもつこと	発生した事象の歴史的意義に対する理解度	発生した事象同士の相互関連性への理解度	歴史に登場する人物と現代人との共通点・相違点への理解度
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	最新世界史図説タペストリー(帝国書院)			
授業形態	選択			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	欧米諸国の世界進出	帝国主義	12					
	5	2つの世界大戦	現代の世界史①	16					
	6	戦後世界の流れと各地域の動向	現代の世界史②	32					
	7								
2学期	8	センター演習	センター演習	16					
	9								
	10								
	11								
	12								
3学期	1	2次試験演習	2次演習(論述・大学別)	16					
	2			16					
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理歴史	世界史演習	2	高校3年	選択

科目の目標	歴史(学)的思考を身につけながら、世界の歴史に関する知識と教養を養う。歴史と経済、歴史と文物との関連、及び世界史と日本史、世界史と地理、世界史と現代世界との接点を理解する。			
学習内容の概要	古代から現代にいたる世界の歴史を学ぶ。古代から中世、中世から近代という時間軸を用いてまず「地域史」を講義する。その際、国家の統治機構や経済的文化的交流史に焦点をあて、その後、地域を横断する「時代史」を講義して総括する。なお現代史においては、特にグローバル化によって地域の相互作用が大きいため、「現代史」として地域横断的な授業を行う。問題演習も頻繁に行う。			
評価の観点	意欲・態度	歴史に対する感性・理解	地域に対する感性・理解	人間に対する感性・理解
	学習内容への研究に意欲をもつこと	発生した事象の歴史的意義に対する理解度	発生した事象同士の相互関連性への理解度	歴史に登場する人物と現代人との共通点・相違点への理解度
評価の方法	定期考査	80%	授業態度等	20%
教科書・教材等	最新世界史図説タペストリー(帝国書院)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	テーマ史	貨幣の歴史 食料の歴史 官吏任用の歴史 科学の歴史 農業の歴史	6					
	5			8					
	6			8					
	7								
	8								
2学期	9	センター演習	センター演習	8					
	10			8					
	11			8					
	12			8					
3学期	1	2次試験演習	2次演習(論述・大学別)	8					
	2			8					
	3								



教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	地理研究(自然探究コース)	2	高校3年	選択

科目の目標	地理的な見方や考え方を培い、国際社会の中で主体的に生きるための自覚と資質を養う。			
学習内容の概要	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	知識・理解
	作業的、体験的学習を通して地理的事象を考察するための技能を理解する。	現代世界の地理的諸事象を系統地理的に考察し、初回台にて地球的視野から理解する。	さまざまな地図の活用、統計・画像・文献などの地理情報の収集・洗濯・処理などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察する。	世界の諸地域の特色や課題を多角的・多面的に考察する。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	地理B(東京書籍)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	地図,自然環境	基本事項の確認 マーク形式問題演習	14					
	5								
	6	自然,産業,人口	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	7								
2	8	民族・宗教,現代世界	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	9								
	10								
	11	総合問題演習	20						
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	地理演習	2	高校3年	選択

科目の目標	地理的な見方や考え方を培い、国際社会の中で主体的に生きるための自覚と資質を養う。			
学習内容の概要	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	知識・理解
	作業的、体験的学習を通して地理的事象を考察するための技能を理解する。	現代世界の地理的諸事象を系統地理的に考察し、初回台にて地球的視野から理解する。	さまざまな地図の活用、統計・画像・文献などの地理情報の収集・洗濯・処理などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察する。	世界の諸地域の特色や課題を多角的・多面的に考察する。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	チェック&演習 地理B(数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	地図,自然環境	基本事項の確認 マーク形式問題演習	14					
	5								
	6	自然,産業,人口	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	7								
2	8	民族・宗教,現代世界	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	9								
	10								
	11	総合問題演習	20						
	12								
3	1								
	2								
	3								





教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
地理・歴史	日本史演習	2	高校3年	選択

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。			
学習内容の概要	日本の移り変わりを世界の流れと関連付けながら多面的に考察していく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	日本・世界の歴史に関する関心高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員として自覚と責任を考えることができる。	歴史的事象から課題を見だし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	日本・世界の歴史に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、活用することができる。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	チェック&演習 日本史B(数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	原始 古代	基本事項の確認 マーク形式問題演習	14					
	5								
	6	中世、近世	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	7								
2	8	近現代 テーマ史	基本事項の確認 マーク形式問題演習	18					
	9								
	10								
	11	総合問題演習	20						
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
公民	現代社会研究	2	高校3年	選択

科目の目標	科学的な探究の精神に基づき、現代社会の仕組みや成り立ちを分析・理解するとともに、社会における人々の規範を確認し、社会に貢献できる公民として必要な能力と態度を養成する。			
学習内容の概要	政治・経済分野、国際社会分野、倫理・哲学分野の三つの観点から社会の成り立ちを考え、演習を通じて基礎的な公民的資質を高めていく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追求しながら、社会の一員としての自覚と責任を考えることができる	社会的事象から課題を見出し、意義や特色、相互の関連を多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断することができる。	平素から各種の資料に親しみ、情報を適切に選択して活用し、追求した過程や結果を適切に表現できる。	社会的事象の意義や特色を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で有用に活用できる能力が育っている。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	直前30日で9割とれる河合英次のセンター現代社会 (KADOKAWA) チェック&演習 倫政/現社 (数研出版)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	私たちの生きる社会、青年期と自己形成	生命・情報をめぐる問題、環境・エネルギーをめぐる問題 青年としてのあり方・生き方、先人の生き方・考え方	3 3					
	5	個人の尊重と法の支配	民主政治の基本原則、日本国憲法と基本的人権	6					
	6	現代の民主政治と政治参加の意義	日本の政治機構	6					
	7	現代の経済社会と経済活動のあり方	現代の経済社会と経済活動の市場機構と政府の役割	4 3					
2	8	国際政治の動向と日本の果たすべき役割	国際政治の動向	3					
	9		国際政治の課題と日本	3					
	10	全単元	センター形式演習	8					
	11	全単元	センター形式演習	8					
3	12	全単元	センター形式演習	5					
	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学研究 I	2	人間探究コース3年	必修

科目の目標	数と式、図形の計量、二次関数、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質についての理解をさらに深め、それらの基本的な概念や原理・原則を用いて、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすこと。特に事象をいろいろな角度から考察し、解決に導く能力を伸ばすこと。							
学習内容の概要	「数学 I」「数学 A」での学習をもとに、次の①～⑤について知識を整理し、理解をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。 ①二次関数とそのグラフ ②図形の性質、図形と計量 ③データの分析 ④数と式、整数の性質 ⑤場合の数と確率							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	提出物	10%	小テスト	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	2018数学 I・A+II・B上級演習PLAN120(数研出版)							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	数と式 場合の数と確率	因数分解	6					
	5		必要条件・十分条件						
	6	2次関数 図形の性質	最大・最小	8					
	7		2次不等式						
2	8	データの分析	四分位数	4					
	9		箱ひげ図						
	10	整数の性質	不定不等式	6					
			11		正弦定理・余弦定理				
	12	図形と計量	四面体の体積比	8					
12	総合問題演習		7						
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学研究Ⅱ	2	人間探究コース3年	必修

科目の目標	高次方程式と複素数、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、平面ベクトル、空間ベクトル、数列についての理解をさらに深め、それらの基本的な概念や原理・原則を用いて、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすこと。特に事象をいろいろな角度から考察し、解決に導く能力を伸ばすこと。							
学習内容の概要	「数学Ⅱ」「数学B」での学習をもとに、知識を整理し、理解をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	提出物	10%	小テスト	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	2018数学Ⅰ・A+Ⅱ・B上級演習PLAN120(数研出版)							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	関数	三角関数 指数関数・対数関数	12					
	5								
	6	微分法・積分法	3次方程式 曲線と直線で囲まれる部分の面積	16					
	7								
2	8	ベクトル	平面図形とベクトル 空間座標とベクトル	14					
	9								
	10	式と証明、複素数と方程式 数列	二項定理 高次方程式 漸化式と数学的帰納法	18					
	11								
	12	総合問題演習	18						
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学Ⅲ	5	自然探究コース3年	必修

科目の目標	微分法、積分法、式と曲線などの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。							
学習内容の概要	各単元において、考えについて理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	提出物	10%	小テスト	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	数学Ⅲ(数研出版)、4STEP数学Ⅲ(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅲ(数研出版)							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	積分法の応用	・面積 ・体積	15					
	5	複素数平面	・複素数の極形式と乗法、除法 ・複素数と図形	20					
	6	式と曲線	・2次曲線 ・媒介変数表示と極座標	25					
	7	単元別問題演習	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B全単元に関する問題演習						
2	8	融合問題	・関数	50					
	9		・方程式、不等式						
	10		・三角関数、指数関数・対数関数						
	11		・極限						
12	・微分法、積分法	45							
11	・数式 ・図形								
3	1	総合演習	・数式 ・図形	40					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学研究Ⅱ	1	自然探究コース3年	必修

科目の目標	高次方程式と複素数、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、平面ベクトル、空間ベクトル、数列についての理解をさらに深め、それらの基本的な概念や原理・原則を用いて、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすこと。特に事象をいろいろな角度から考察し、解決に導く能力を伸ばすこと。							
学習内容の概要	「数学Ⅱ」「数学B」での学習をもとに、知識を整理し、理解をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	提出物	10%	小テスト	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	オリジナルテキスト							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	関数	三角関数 指数関数・対数関数	6					
	5								
	6	微分法・積分法	3次方程式 曲線と直線で囲まれる部分の面積	8					
	7								
2	8	ベクトル	平面図形とベクトル 空間座標とベクトル	6					
	9								
	10	式と証明、複素数と方程式 数列	二項定理 高次方程式 漸化式と数学的帰納法	10					
	11								
	12	総合問題演習	9						
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学演習Ⅰ・Ⅱ	2	人間探究コース3年 自然探究コース3年	選択

科目の目標	事象を数学的に考察し表現する力をさらに高め、正しい数学的推論によって得られた結果に基づき自ら判断する力を養うこと。							
学習内容の概要	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」での学習を基に、総合的な数学的な見方や考え方をさらに深めるとともに、それらを事象の考察に活用する。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。	各単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	提出物	10%	小テスト	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	啓林館／河合塾 システム数学 入試必修問題集 練磨 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	数と式・論理	式の値 整数	4					
	5	関数と方程式	高次方程式と複素数	4					
		場合の数と確率	場合の数 確率	8					
	7	平面図形	平面図形	4					
		図形と方程式	図形と式	4					
2	8	三角比・三角関数	三角比・三角関数	8					
	9	指数関数・対数関数	指数関数・対数関数	4					
	10	微分法・積分法	微分法と最大・最小、不等式への応用 定積分と面積	8					
	11	数列	等差数列・等比数列 漸化式	8					
	12	ベクトル	平面ベクトル 空間ベクトル	8					
3	1	総合演習		8					
	2								
	3								





教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理	2	高校3年	選択

科目の目標	物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	①電気と磁気 ②原子			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な物理現象やエネルギーについて理解しようとする	物理学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、物理学的に探究することができる	物理学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	物理(啓林館)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第4部 電気と磁気	第1章 電界と電位	16					
	5		第2章 電流	18					
	6		第3章 電流と磁界	18					
	7		第4章 電磁誘導と電磁波	9					
	8	第5部 原子・分子の世界	第1章 電子と光	9					
2	8		第2章 原子・原子核・素粒子	8					
	9	-	-	-					
	10								
	11								
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物	2	高校3年	選択

科目の目標	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。科学的思考力、主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的をもとに課題を科学的に分析・解決する能力を養うこと。			
学習内容の概要	①生物の環境応答 ②生物と環境 ③生物の進化と系統			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	生物学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な生物学的現象やについて探究する態度を身につけようとする	生物学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、生物学的に探究することができる	生物学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	生物(第一学習社), セミナー生物基礎+生物(第一学習社)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第3編	第7章 植物の環境応答	16					
	5		第8章 動物の反応と行動	18					
	6	第4編	第9章 個体群と生物群集	18					
	7		第10章 生態系	9					
	8	第5編	第11章 生物の進化	9					
	第12章 生物の系統		8						
2	9	-	-	-					
	10								
	11								
	12								
3	1	-	-	-					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理研究	1	高校3年	選択

科目の目標	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。科学的思考力、主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的をもとに課題を科学的に分析・解決する能力を養うこと。			
学習内容の概要	「物理」での学習をもとに、次の分野について理解をさらに深めるとともに、実践考察や計算演習を行う。①運動 ②波動 ③電気と磁気 ④原子			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な物理現象やエネルギーについて理解しようとする	物理学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、物理学的に探究することができる	物理学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	物理(啓林館)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体の運動, つり合い</li> <li>運動の法則</li> <li>等速円運動</li> <li>万有引力</li> </ul>	6					
	5								
	6	波動	<ul style="list-style-type: none"> <li>干渉と回折</li> <li>反射と屈折</li> <li>音波</li> <li>ドップラー効果</li> <li>光</li> </ul>	6					
	7	電気と磁気	<ul style="list-style-type: none"> <li>電解と電位</li> <li>電流と磁界</li> <li>電磁誘導と電磁波</li> </ul>	4					
2	8	原子	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子と光</li> <li>原子・原子核・素粒子</li> </ul>	8					
	9								
	10								
	11	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーク形式問題演習</li> </ul>	15					
	12								
3	1	-							
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	物理演習	2	高校3年	選択

科目の目標	物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「物理」での学習をもとに、次の分野について理解をさらに深めるとともに、実践考察や計算演習を行う。①運動 ②波動 ③電気と磁気 ④原子			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	物理学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な物理現象やエネルギーについて理解しようとする	物理学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、物理学的に探究することができる	物理学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	物理(啓林館)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	-	-	-					
	5								
	6								
	7								
2	8	運動	物体の運動, つり合い/運動の法則 等速円運動/万有引力	8					
	9								
	10	波動	干渉と回折/反射と屈折/音波/ドップラー効果/光	8					
		電気と磁気	電解と電位/電流と磁界/電磁誘導と電磁波	8					
	11	原子	原子と光/原子・原子核・素粒子	8					
		12	総合問題演習	記述形式問題演習					
3	1	-	-	-					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学基礎研究	2	高校3年	必修

科目の目標	化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「化学基礎」での学習を基に、次の①～②について理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習を行う。 ① 物質の構成 ② 物質の変化			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	化学の事象・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	化学的な事象・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断できる。	化学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	化学に関する事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	数研出版 化学基礎 浜島書店 つかむセンター化学基礎			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1編 物質の構成 第2編 物質の変化	化学基礎における各編の問題演習および実験演習  第1編 物質の構成 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合  第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応	26					
	5								
	6								
	7								
2	8	生物基礎全範囲	マーク形式問題演習	36					
	9								
	10								
	11								
3	12								
	1								
	2								
	3	—	—	—					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学研究	1	高校3年	必修

科目の目標	化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「化学」での学習を基に、次の①～⑦について理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習を行う。 ① 物質の状態 ② 物質の変化 ③ 無機物質 ④ 有機化合物 ⑤ 天然物化合物 ⑥ 高分子化合物			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	化学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	化学的な事物・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断できる。	化学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	定期テスト	70%	意欲・提出物等	30%
教科書・教材等	数研出版 化学 リードα 化学基礎+化学			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1編 物質の状態	第1章 粒子の結合と結晶の構造 第2章 物質の三態と状態変化 第3章 気体 第4章 溶液	6					
	5								
	6	第2編 物質の変化	第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さと仕組み 第4章 化学平衡	6					
	7								
2	8	第3編 無機物質	第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I) 第3章 金属元素(II)	6					
	9								
	10	第4編 有機化合物	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連物質 第4章 芳香族化合物	4					
	11		第5編 天然物化合物	第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物	2				
			第6編 合成高分子化合物	第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	2				
12									
3	1	化学全範囲	マーク形式問題演習	8					
	2								
	3	—	—	—					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	化学演習	2	高校3年	必修

科目の目標	化学の基本的な概要や原理・原則を深く理解し、あらゆる場面に応じて活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「化学」での学習を基に、次の①～⑦について理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習を行う。 ① 物質の状態 ② 物質の変化 ③ 無機物質 ④ 有機化合物 ⑤ 天然物化合物 ⑥ 高分子化合物			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	化学の事物・現象に関心・探究心を持ち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	化学的な事物・現象に問題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。	化学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	定期テスト	70%	意欲・提出物等	30%
教科書・教材等	数研出版 化学			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1編 物質の状態	第1章 粒子の結合と結晶の構造 第2章 物質の三態と状態変化 第3章 気体 第4章 溶液	10					
	5								
	6	第2編 物質の変化	第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さと仕組み 第4章 化学平衡	10					
	7								
2	8	第3編 無機物質	第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I) 第3章 金属元素(II)	13					
	9								
	10	第4編 有機化合物	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連物質 第4章 芳香族化合物	8					
	11								
	11	第5編 天然物化合物	第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物	4					
		第6編 合成高分子化合物	第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	4					
12									
3	1	化学全範囲	記述形式問題演習	16					
	2								
	3	—	—	—					



教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物基礎研究	2	高校3年	必修

科目の目標	生物の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、活用する力を伸ばすこと。			
学習内容の概要	「生物基礎」の内容について理解をさらに深めるとともに、実験考察や計算演習を行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	生物の事象・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	生物的事象・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断できる。	生物の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	生物に関する事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	定期テスト	70%	意欲・提出物等	30%
教科書・教材等	生物基礎(第一学習社), つかむセンター生物基礎(浜島書店)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1編 生物と遺伝子 第2編 生物の体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系	生物基礎全範囲における各編の問題演習および実験演習等	26					
	5								
	6								
	7								
2	8	生物基礎全範囲	マーク形式問題演習	36					
	9								
	10								
	11								
	12								
3	1	—	—	—					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物研究	1	高校3年	選択

科目の目標	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。科学的思考力、主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的をもとに課題を科学的に分析・解決する能力を養うこと。			
学習内容の概要	「物理」での学習をもとに、次の分野について理解をさらに深めるとともに、実践考察や計算演習を行う。①運動 ②波動 ③電気と磁気 ④原子			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	生物学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な物理現象やエネルギーについて理解しようとする	生物学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、生物学的に探究することができる	生物学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト	70%	意欲・提出物等	30%
教科書・教材等	生物基礎(第一学習社), 生物(第一学習社), セミナー生物基礎+生物(第一学習社)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1章 細胞と分子	生体の構成/タンパク質の構造と性質/酵素のはたらき/細胞の構造とはたらき/細胞の活動とタンパク質	2					
	5	第2章 代謝	代謝とエネルギー/呼吸と発酵/光合成/窒素同化	2					
		第3章 遺伝	DNAの構造と複製/遺伝情報の発現/遺伝子の発現調節/バイオテクノロジー	4					
	6	第4章 生殖と発生	遺伝子と染色体/減数分裂と遺伝情報の分配/遺伝子の多様な組み合わせ/動物の配偶子形成と受精/初期発生の過程/細胞の分化と形態形成/植物の発生	2					
	7	第5章 動物の反応と行動	ニューロンとその興奮/刺激の受容/情報の統合/刺激への反応/動物の行動	2					
		第6章 植物の環境応答	植物の反応/成長の調節/花芽形成と発芽の調節	2					
2	8								
	9	第7章 生物群集と生態系	個体群/個体群内の個体間の関係/異種個体群間の関係/生物群集/生態系における物質生産/生態系と生物多様性	4					
	10	第8章 生命の起源と深化	生命の起源/生物の変遷/進化のしくみ	2					
		第9章 生物の系統	生物の分類と系統/原核生物/原生生物/植物/動物/菌類	2					
	11	総合問題演習	・マーク形式問題演習	8					
12									
3	1	-	-	-					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
理科	生物演習	2	高校3年	選択

科目の目標	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。科学的思考力、主体的に自然を探究する能力と態度を高め、目的をもとに課題を科学的に分析・解決する能力を養うこと。			
学習内容の概要	「生物」での学習をもとに、次の分野について理解をさらに深めるとともに、実践考察や論述演習を行う。①細胞と分子 ②代謝 ③遺伝 ④生殖と発生 ⑤動物の反応と行動 ⑥植物の環境応答 ⑦生態系 ⑧生命の起源 ⑨生物の多様性			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	生物学と日常生活との関連についての重要性に気づき、身近な生物学的現象やについて探究する態度を身につけようとする	生物学がかかわる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を考えることができる	様々な探究の過程を通して科学の方法を習得させ、特に、生物学的に探究することができる	生物学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	生物基礎(第一学習社), 生物(第一学習社), セミナー生物基礎+生物(第一学習社)			
授業形態	一斉			

年間学習計画												
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点			
1	4	-	-	-								
	5											
	6											
	7											
2	8	-	-	-								
	9									第1章 細胞と分子	生体の構成/タンパク質/酵素	4
										第2章 代謝	代謝とエネルギー/呼吸と発酵/光合成/窒素同化	4
	10									第3章 遺伝	DNAの構造と複製/遺伝子/バイオテクノロジー	4
										第4章 生殖と発生	染色体/減数分裂/配偶子形成/初期発生 細胞の分化/植物の発生	4
	11									第5章 動物の反応と行動	ニューロンとその興奮/刺激の受容/情報の統合/刺激への反応/動物の行動	4
										第6章 植物の環境応答	植物の反応/成長の調節/花芽形成と発芽の調節	4
	12									第7章 生物群集と生態系	個体群/同種異種個体群間の関係/生物群集 生態系における物質生産/生態系と生物多様性	4
第8章 生命の起源と深化		生命の起源/生物の変遷/進化のしくみ	3									
3	1	第9章 生物の系統	生物の分類と系統 原核生物/原生生物/植物/動物/菌類	3								
	2	総合問題演習	論述形式問題演習	12								
	3											

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	体育	3	高校3年	必修

科目の目標	① 各種の運動の合理的な実践を通して課題を解決することにより運動の楽しさや喜びを味わうと共に、運動技能を高めることが出来るように生活を明るく健全にする態度を育てる。② 各種の運動を適切に行うことによって、自己の体の変化に気付き、身体の調子を整えると共に、体力の向上を図りたくましい心を育てる。③ 運動における競争や協同の経験を通して公正な態度や進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。また、健康・安全に留意して運動することができる。							
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。 内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。							
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解				
	運動の楽しさに触れ全力で運動しようとしている。また、自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。	運動の特性に応じて、自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返っているか。	運動の課題や行い方、戦術を基に運動を行うことが出来、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、運動の練習の原則及び生活における運動の取り入れ方や意義に関する基礎的な知識を理解し、身につけ生かしている。				
評価の方法	30	%	10	%	30	%	30	%
教科書・教材等	保健体育(大修館)							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	・集団・整列・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体力テスト	8					
	5	体育理論 球技・ハンドボール	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	12					
	6	陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。	12					
	7	バレーボール	・パス・アタック・サービス ・対人パスをiPadで撮影して改善点を見つける。	12					
2	8	球技・ソフトボール	・打撃・捕球・送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備 ・ゲーム	12					
	9								
	10	球技・バスケットボール 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・チームの攻守をiPadで撮影して改善点を見つける。	12					
	11	球技・バドミントン 体育理論	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	8					
	12	器械運動・ダンス	(現代的なリズムのダンス) グループで曲を選択し、練習をして発表。 (マット運動・跳び箱)	7					
3	1	卓球	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	12					
	2								
	3	バレー	・パス、アタック、サービス練習 ・試合	10					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
英語	英語研究	3	高校3年	必修

科目の目標	①センター試験形式における語法・文法・使用法を学び、運用する。 ②文の構造を理解し、論理展開の流れを身につける。 ③論理的な文章の文脈を理解し、要旨をまとめることができるようになる			
学習内容の概要	センター試験に対応した問題演習中心の授業。国公立二次大学入試問題にも対応できる実力の基礎を養成する。			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心 を持ち、積極的な態度 で聞くこと、読むこと、話す こと、書くことの言語活動 に参加しているか。	様々な話題に関して、情 報や考えなど相手に伝え ようとする事柄を英語で話 したり、書いたりして適切 に表現することができる か。	様々な話題に関して、情 報や考え方など、相手が 伝えようとする事柄を的確 に理解することができる か。また聞き手に伝わるよ うに適切に音読することが できるか。	様々な話題についての学 習を通して、言語やその 運用についての知識を身 につけるとともに、その背 景にある文化などを理解 しているか。
評価の方法	課題提出 授業態度 30%		定期考査 70%	
教科書・教材等	第123問徹底リハーサル・Power Frame850			
授業形態	習熟度別2クラス			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	オリエンテーション	-	1					
	5	過去問・リハーサル第1問、第2問	発音・アクセント・文法語法	6					
	6	過去問・リハーサル第2問	発音・アクセント・文法語法	5					
	7								
2学期	8								
	9	Power Frame850	ランダム演習	4					
	10	Power Frame850	ランダム演習	6					
	11								
	12	センター予想問題集	演習	5					
3学期	1	センター予想問題集	演習	7					
	2								
	3	マーク形式問題演習	総合演習	1					



教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
英語	実践英語	1	高校3年	必修

科目の目標	①英文の構造を理解し、簡単な語を並び替えて英作文する ②センター試験レベルのListeningの演習によって、Readingの精読速読につなげる。			
学習内容の概要	Listening・語群整序・和文英訳・自由英作文			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動に参加しているか。	様々な話題に関して、情報や考えなど相手に伝えようとする事柄を英語で話したり、書いたりして表現することができるか。	様々な話題に関して、相手が伝えようとする事柄を的確に理解できるか。また聞き手に伝わるように音読することができるか。	様々な話題についての学習を通して、言語運用についての知識を身につけるとともに、文化などを理解しているか。
評価の方法	課題提出 授業態度		30%	定期考査
教科書・教材等	センター試験英語リスニングオリジナル問題集・入試過去問			
授業形態	習熟度別クラス			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	オリエンテーション	-	1					
		リスニング問題集1-2	問題演習	4					
	5	リスニング問題集3-4	問題演習	4					
		リスニング問題集5-8	問題演習	4					
	7		問題演習						
2学期	8	模試過去問リスニング		7					
	10	入試過去問・自作プリント	問題演習	4					
		入試過去問・自作プリント	問題演習	4					
		入試過去問・自作プリント	問題演習	4					
3学期	1	入試過去問・自作プリント	問題演習	4					
	2	入試過去問・自作プリント	問題演習	3					